

新駅について

1. 概要

「明石駅～西明石駅間」の新駅構想については、平成16年、JR西日本からの提案以降、平成19年5月策定の「明石市総合交通計画」においてマイカーから公共交通利用への転換誘導施策の一環として検討することが位置付けられました。その後、新駅に関する効果の検討や商業圏への影響調査などを行い、議会での審議を始め、市民との意見交換などを行ってきました。

しかしながら、検討を開始してから3年が経過しましたが、様々な意見があり、一定の結論には至っておりません。

一方、「大久保駅～魚住駅間」の新駅構想については、明石市総合交通計画で検討の対象としているものの、現在まで本格的な議論は行われておりません。

このことから、今年度、交通政策やまちづくりなど、幅広い分野に携わる有識者や市民の代表者等を委員とする研究会を立ち上げ、「明石駅～西明石駅間」と「大久保～魚住駅間」について、新駅の必要性や実現性を検討し、研究成果をとりまとめて市へ報告することとします。

2. スケジュール

- ・本年9月に研究会を設立し、年内に研究会を3回程度行う。
- ・研究会での成果を、12月を目途にとりまとめる。
- ・研究成果を受けて、来年3月を目途に、新駅構想について一定の方向付けを行い、議会に報告する。

表 研究会のスケジュール（案）

	研究会（有識者・市民代表）	市	議会
平成22年4月～8月		・研究会設立準備	
9月	・設立	・内容検討・資料作成等 ・市民に正確な情報を提供し、広く意見を募る。	9月議会
10月	・有識者部門（9月～10月）		
11月	・市民代表部門（10月～11月）		
12月	・研究成果とりまとめ⇒市へ報告	・研究成果を議会に報告	12月議会
平成23年1月		・研究成果を受けて、市で新駅構想について一定の方向付けを行い、議会に報告	
2月			
3月			3月議会

3. 研究会の構成

- ・有識者部門（5名）：交通政策、都市計画、看護・社会福祉、経済、商業 各分野
 - ・市民代表部門（20名）：連合自治協議会、新駅検討周辺自治会・農会、商工会議所、公募市民
- ※ 行政（県・市）は、オブザーバーとして参加する